



ふくしま夢つうしん

福島市

66

2026年10月



CONTENTS

特集

福島ユナイテッドFC …2

ふくしまの魅力人

れぎゅーむれぎゅーむ

今野 拓也さん …6

インフォメーション

ふるさと納税で福島市を応援!

元気ふくしま・ふるさと寄附金 …8

地域に根差し、J2昇格を目指す！ 皆さんの応援が 福島ユナイテッドFCの原動力です



就任3年目を迎えた寺田周平監督率いる福島ユナイテッドFC。今季、クラブ史上、最も熱いシーズンを戦っています。目指すところはただ一つ、J2昇格。掴み取るために、現役時代J2から日本代表へ昇り詰めた指揮官が選手に授けたのは、どんな逆境にも屈しない粘り強いメンタリティです。地元で「一番身近なプロスポーツチーム」として愛されるクラブの監督に福島への思い、サッカーの魅力、昇格争いにかける決意を伺いました。



©Fukushima United FC

福島ユナイテッドFC監督
寺田 周平さん
神奈川県出身、51歳。元プロサッカー選手。当時、J2だった川崎フロンターレに入団し、DFとしてJ1昇格に貢献。川崎一筋で活躍しながら、Jリーグ発足後における日本代表最年長初出場記録も樹立。引退後は、日本代表経験を持つ指導者として、川崎で育成・トップコーチを歴任し、数々のタイトル獲得に貢献。2024年から福島ユナイテッドFC監督。

大きな伸びしろを持つ福島U その成長に関われる喜び

3年前、監督就任の打診をいただいた時、「サッカーを通じて東日本大震災後の福島を活気づけることができるんじゃないか」という気持ちになったことを覚えています。

「福島のサッカーって、こんなに面白くて強いんだぜ」と胸を張れる、地域の誇りとなるチームづくりを目指してきました。だからこそ、単に勝つだけではなく、戦い方や内容にまでこだわり抜く、魅力あるサッカーを追求してきたつもりです。

就任前は、川崎フロンターレという、J1でタイトルも取っているある程度完成されたクラブチームにいました。福島Uの魅力は、まだまだ成長している伸びしろと、地域に根差しているところだと僕は思っています。成長し続けていくプロセスに指導者として関われるのは、やっぱり幸せなことです。昨夏発表された「日本初の完全木造・世界初の循環型木造スタジアム構想」や、農産部のような独自の取り組みは、全国のクラブを見渡しても他にない強みです。応援してください皆さんが、3年後、5年後を想像してワクワクしている気持ちを、さらに盛り上げ

界も見えてきます。

福島Uの原動力は、間違いなく皆さんの応援です。サポーターと選手が一緒になって作り上げていく、「これが福島のサッカーだよ！」みたいな一体感が出てくるスタジアムになったら面白いなと、試合の度に思っています。ゴールシーンは当然盛り上がりますが、ゴールの1つ、2つ前ぐらいの福島Uらしい美しいパスワーク。「おー！そうそう、このプレー！」みたいな盛り上がりも分かち合いたいのので、ぜひ皆さんで観戦にお越しください。

来年2月27日には、「MUFG THE 国立DAY」*の一環として国立競技場（MUFGスタジアム）で、明治安田J3リーグ第24節福島ユナイテッドFC VS ツエーゲン金沢の開催が決まっています。こちら



福島でもと思っています。

この前、ホームゲームの日に福島駅前を通ったら、福島Uのユニフォームを着た親子連れを見かけて。思わず口元が緩んでしまいました。試合の日には、駅周辺がにぎわって、飲食店が盛り上がって……そういう雰囲気になってくれるのが夢です。

来年2月、国立競技場で ホームゲームを開催します！

サッカーって本当に面白いスポーツなんです。強力な選手を集めれば勝てるかと言えば、そんな簡単な話ではありません。逆に、戦術やアイデアでひと工夫すれば、格上の相手に勝てたりもします。11人が同じ方向を向き、イメージが共有できて点が取れた時の爽快感はたまらないものがあります。天皇杯での優勝や、J1へ昇格して上位入ることができれば、その先にはアジア、そして世

る一翼を担いたいし、一緒にさまざまな喜びを分かち合っていきたいと思っています。

福島に活力を、自身に成長を ピッチで戦う選手たち

何のためにピッチに向かうのかと言ったら、1つは、福島に活力をもたらすため。もう1つは、一人ひとりが成長するためです。選手たちには、「全ての言動をこの2つに照らし合わせて、合致するか考えよう」という話をよくします。選手にとっての1年は、本当に貴重なので。「すぐ成長できた」「福島がホームでよかった」と思ってもらえる、中身の濃い1年になるように意識しています。

J3からJ2、J1を目指す厳しい環境だからこそ、選手の奥底から「こうなりたい」「J2へ昇格したい」という熱い思いが湧き出てこ

サッカーを通して福島につくり出したいのが、試合がある日のワクワク感です。駅前の雰囲気がなんか違うな……みたいなね。

僕が川崎フロンターレに入団した頃は、お客さんが3千人いかない日もありました。それがチームが強くなっていくと、試合の日にユニフォームを着て、スタジアムに向かう人をたくさん見かけるように。景色が変わっていくのをこの目で見てい

試合の日のあのワクワク感を 福島市内の隅々まで届けたい

▲今季のユニフォーム
青海波や矢羽根などをモチーフに、和柄模様の美しさを現代的な感性で再構築し、伝統が持つ力強さや繊細さを表現している。

*JリーグのサポーターイングカンパニーであるMUFG（三菱UFJフィナンシャル・グループ）がスポンサーとなり、普段は各ホームスタジアムで試合を行うクラブが、「国立競技場」で試合を行う。2027年2月27日は、変則ダブルヘッダーで、第1試合に明治安田J1リーグ 第23節 川崎フロンターレ vs FC町田ゼルビア、第2試合に明治安田J3リーグ 第24節 福島ユナイテッドFC vs ツエーゲン金沢が開催される。

サッカーだけじゃない！福島の農業を応援する「農業部」

選手自らが畑に足を運び、地元農家と一緒に農産物を育てる農業部。活動のきっかけは、東日本大震災後に広がった福島県産農産物への風評被害や、農業の担い手不足でした。

2014年、地元農家との連携から活動をスタートし、今年で13年目。福島の農産物の魅力を全国へ発信する、福島ユナイテッドFCならではの活動です。



モモ、リンゴ、ブドウ、ル・レクチェ（洋ナシ）、アスパラガス、米の6品目を栽培！



「ちょっとだけ農作業に参加して農業をPR」ではなく、モモであれば木を1本単位で、米であれば田んぼを1反単位で購入。年間を通して生育しています。



試合会場や地元のイベントでは、県内の農産物や6次化商品を販売・PRする「ふくしまマルシェ」を開催。公式オンラインショップでも農産物を販売しています。



公式オンラインショップはこちら



経験豊富なベテラン陣のリーダーシップと若手の情熱、クラブエンブレムに刻まれた「不死鳥」の精神が融合し、熱戦を繰り広げている福島ユナイテッドFC。ピッチ上でのプレーだけでなく、全国でも珍しいプロスポーツ選手による農業活動「農業部」も展開中。食と農の魅力を力に変えて、福島から全国へ元気と勇気を発信しています。

福島ユナイテッドFCで活躍する選手を一部紹介！

11 Forward 三浦 知良 MIURA Kazuyoshi



©Fukushima United FC

日本サッカー界のレジェンドが福島へ！

1986年にブラジルでプロデビューし、その後、日本代表の主力として多くの試合で活躍。「キング・カズ」の愛称で親しまれ、Jリーグ発足当初から日本サッカー界をけん引してきました。

2026年に福島ユナイテッドFCに加入し、新たな挑戦をスタート。豊富な経験と飽くなき向上心でチームを支え、今年7月・8月には日本のプロ選手の最年長得点記録を更新しました。

- 身長：177cm ●体重：72kg ●生年月日：1967/2/26
- 所属年数：1年目 ●得意なプレー：ワンタッチプレー ●福島のおすすめスポット：温泉



40 Forward 樋口 寛規 HIGUCHI Hiroki



©Fukushima United FC

2016年からチームに在籍する最古参。2026/27シーズンは初のキャプテンを務めます。2025シーズンはチームトップタイの10ゴールを挙げるなど、攻撃の中心として活躍しています。

- 身長：172cm
- 体重：72kg
- 生年月日：1992/4/16
- 所属年数：11年目
- 得意なプレー：ごつつあんゴール
- 特技：カレー作り

10 Midfielder 針谷 岳晃 HARIGAYA Takeaki



©Fukushima United FC

背番号10を背負い、的確なパスでチャンスを作るゲームメイカー。2026年の「JリーグオールスターDAZNカップ」ではJリーグ推薦選手として出場。副キャプテンとしてもチームを支えています。

- 身長：166cm
- 体重：56kg
- 生年月日：1998/10/15
- 所属年数：3年目
- 得意なプレー：縦パス
- 福島のおすすめスポット：道の駅ふくしま

78 Goalkeeper チョン ソンリョン JUNG Sung Ryong



©Fukushima United FC

韓国リーグを経て2016年来日し、川崎フロンターレで活躍してきました。2026年にチームに加入し、副キャプテンにも就任。191cmの長身と長年の経験を生かしてゴールを守ります。

- 身長：191cm
- 体重：91kg
- 生年月日：1985/1/4
- 所属年数：1年目
- 得意なプレー（強み）：1対1、シュートストップ、判断力

福島ユナイテッドFCをスタジアムで応援！ ホームゲーム開催情報

ホームスタジアム

とうほう・みんなのスタジアム

（福島市佐原字神事場1）



市民フォトグラファー 半沢剛さん撮影

アクセス

【シャトルバス】

ホームゲームでは基本的に福島駅西口から直行シャトルバスが運行！※詳しくはホームページをご覧ください。

【路線バス】

福島駅東口で「佐原・四季の里行」に乗車し、「あづま総合体育館」で下車後、徒歩約10分

【車】

JR福島駅から約20分

東北自動車道 福島西ICから約10分

節	試合日時	対戦相手
第10節	10/10(土) 16:00	レイラック滋賀FC
第12節	10/21(水) 13:00	ギラヴァンツ北九州
第14節	10/31(土) 14:00	松本山雅FC
第16節	11/7(土) 14:00	FC琉球
第17節	11/14(土) 14:00	SC相模原
第20節	11/29(日) 14:00	ガイナレ鳥取
第26節	3/13(土) or 14(日)	鹿児島ユナイテッドFC
第27節	3/17(水)	FC大阪
第29節	3/27(土) or 28(日)	高知ユナイテッドSC
第34節	4/29(木)	栃木SC
第36節	5/9(日)	愛媛FC
第37節	5/15(土) or 16(日)	FC岐阜

最新の試合
情報はこちら



チケットの
購入はこちら



魅力

みりよくびと

力人

Takuya
Konno

パティシエから農業者へ転身。未経験で始めた野菜作りは、苦勞の連続でした。大型ハウスへの移行と機械化は、お子さんが生まれたことがきっかけです。主力野菜をトマトに絞り込み、安心安全の根拠にしたいとJGAP^{※1}も取得。「この大きなハウスで作っているトマトはどこで買えるの？」という近所の方の声を受け、2021年、「れぎゅーむれぎゅーむ^{※2}」の野菜が買えるコインロッカー型の自動販売所を開設しました。以来、おいしいトマトがワンコインで買えると好評を博しています。自分たちのライフステージに合わせた農業に取り組む、今野拓也さんをご紹介します。



福島市八木田にある「れぎゅーむれぎゅーむ」の自動販売所。トマトの販売は12月～6月。そのほか夏は契約農家さんのモモ、秋はリンゴが、ワンコイン（500円玉）で買えます。時間は8:00～17:00でなくなり次第終了。



住宅区域に隣接している今野さんの大型ハウス

自動灌水装置と環境制御装置をスマートフォンでチェック

2019年、今野さんは、総面積10アールの大型ハウスに2つのシステムを導入しました。「1つ目が自動灌水装置です。土の中に挿したセンサーで水分量や肥料濃度、地温の管理はもちろん、推移をデータ化して僕がスマートフォンで指定した数値を維持してくれます。2つ目が環境制御装置です。ハウスの開閉や冬場の暖房の温度管理を、自動でやってくれます。また、植物が光合成をするために二酸化炭素を作り出す機械があるんですが、それらを複合的に



れぎゅーむ
れぎゅーむ

ライフステージに合わせて省力化、効率化を実現
おいしいトマトが大人気！



れぎゅーむれぎゅーむ
今野 拓也 さん

福島市生まれ。高校卒業後、パティシエを目指して都内の専門学校に進学。1年間学んだ後、同校のフランス校へ。1年後に帰国し、都内で製菓学校の助手や百貨店のお菓子コーナー、フランス菓子店のパティシエとして働く中で東日本大震災が起きる。2014年、結婚と同時に北海道生まれの妻とともにUターン。2015年、就農し祖父母が作っていたキュウリを含む少量多品種の野菜の露地栽培を始める。2017年、大型ビニールハウスに移行。自動灌水装置など機械化を図り、トマトのハウス栽培に取り組んでいる。妻と長男との3人暮らし。

管理する装置です。パソコンでチェックする度、機械化による省力化、効率化を実感しています。

ハウスから自動販売機へ最短直送 鮮度抜群のトマトが評判を呼ぶ

品種を絞り、トマトを主力にした理由も伺いました。「消費者の皆さんが一年中食べる野菜で、なおかつ味で勝負できるものになりたいと思います。自分なりに土づくりを研究しながら少量多品目を生産してきたので、その技術を生かして味重視のトマトを作ることになりました」。

トマトと言っても種類は多様。今野さんが選んだのは、果実の先がと

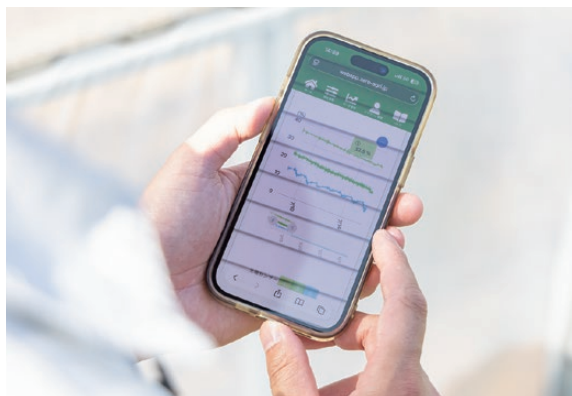


れぎゅーむれぎゅーむのトマト。シーズン中（12月～6月）は、自動販売所のほか、コラッセふくしまの福島県観光物産館でも購入できます。

子育てと農業の両立を目指す 大型ハウス＆機械化を決める

就農以来、一人で自分の時間をフルに使って少量多品目の野菜を栽培していた今野さん。妻の麻未^{あづみ}さんは、野菜の袋詰めや経理を手伝っていました。2017年、お子さんが生まれると今野さんは、自分も育児に関わりたと思うようになりました。「そのためには、これまでのようなやり方では難しかったんです。ワークライフバランスを考えて、大型ハウスへの移行と機械の導入を決めました」。

特に機械化については、周囲に相談しても、「やめておいたほうがいい」「そこまでする必要はない」といった慎重な意見が多かったとのこと。「収入を得るためには、やはりある程度の生産量が必要です。畑の周り



土中の水分量や肥料濃度などのデータはいつでもスマートフォンでチェックできる

がつているファースト系のトマトです。「皮が薄めで、酸味と甘味のバランスが良いのが特長です。種のあるゼリー状の部分が少なくて、果肉が厚く、食べ応えがあります」。

大型ハウスと自動販売機が近いので、「食べごろを待って収穫した新鮮でおいしいトマトを提供できます」と今野さん。自動販売機設置から5年。今では、午前8時のオープン前から人が並ぶほどに。

「うちの子は、このトマトしか食べないんです」など、時折届くうれしい声が今野さんの大きな励みとのこと。12月になるとトマトの販売が始まります。福島市においては、ぜひお立ち寄りください。



ふるさと納税で福島市を応援！

元気ふくしま・ふるさと寄附金

ふるさと納税は、故郷や応援したい自治体へ寄付をすることで、現在住んでいる自治体に納める税金が控除され、寄付をした自治体の特産品などの返礼品を受け取ることができます。ぜひ、福島市のまちづくりへ応援をお願いします！

寄付金の使い道を
選ぶことができます！

福島市の 応援メニュー

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------|
| 1 くだもの王国の農業 | 5 子どもの夢を育むまち | 9 動物にもやさしいまち |
| 2 花見山と美しい環境 | 6 誰にとってもやさしい社会 | 10 ICT化と都市ブランド |
| 3 災害に強いまちづくり | 7 にぎわいある県都づくり | 11 まだまだ復興福島市 |
| 4 音楽・文化があふれるまちづくり | 8 スポーツのまちづくり | |



令和7年度 返礼品ランキング

※寄付金額ベース。



第1位

フルーツ定期便

モモ、ナシ、ブドウ、リンゴの組み合わせが1番人気。旬の極上フルーツが定期的に届きます。



第2位

モモ

一番人気の品種は「あかつき」。福島県は「あかつき」の生産量が全国1位！弾力ある食感と染み出す甘い果汁をお楽しみください。



第3位

トラベルクーポン・宿泊券

温泉旅館などの宿泊に利用でき、福島市の豊かな自然や観光名所を存分に満喫できます。



第4位

ナシ

福島盆地特有の昼夜の寒暖差が、おいしい梨を育みます。みずみずしい果肉、甘く濃厚な味わい、肉質のやわらかさが特徴。

／ 福島市へのふるさと納税はこちらから！ ／

楽天



さとふる



ふるさと
チョイス



ふるなび



福島市サイト
ふるさと生活



図政策調整課 TEL 024-525-3708

市民フォト・ふくしま夢つうしん

2026年10月号

No.66

次号は2027年1月発行予定です。

編集発行 福島市広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1
TEL 024-525-3710 FAX 024-536-9828
E-mail: kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp



ふくしま夢つうしん
バックナンバー



福島市公式
Instagram



📷 表紙紹介

福島ユナイテッドFC

キングカズこと三浦知良選手の加入や、元日本女子代表・澤穂希さんのアンバサダー就任で話題を呼ぶ福島U。サポーターの皆さんの応援を原動力に、J2昇格を目指します！スタジアムに応援に行ってみてはいかがでしょうか？